

くらサポニュース^{NO.}122



最近の事例紹介



2024/12/1

利用者さんは、半年ほど前から玄関の下駄箱の引き戸が開かなくなってしまい、困っていました。大工仕事が得意なサポーターが訪問し、丁寧に直してくれました。引き戸が開けられるようになり、とても喜んでいただけました。

(さいたま市 80代)



利用者さんより、購入した収納棚をダンボールから取り出してほしいという依頼がありました。自分ではできない事をいつも手伝ってもらい、大変助かっていると喜ばれました。

(飯能市 80代)



学習会開催

10月30日(水)「改悪がすすむ介護保険制度の行方とくらしサポーター制度」の学習会がふれあい会館で開催されました。オンライン会場8カ所を含み、組合員40人・職員23人が参加しました。介護保険制度と組合員同士の助け合い活動の現状について学びました。

参加者の声

くらしサポーター制度の成り立ちやこれまでの歴史がわかってよかった。サポーターを増やし、この制度を知ってもらう工夫をしたい。



いつも元気に頑張っているサポーターさん紹介 (草加市)

質問項目

- Q1 サポーター歴 Q2 年代 Q3 性別 Q4 サポーターになったきっかけ
Q5 サポーターとして支援してよかったこと

- Q1. 8年 Q2. 70代 Q3. 女性
Q4. 草加市のボランティア研修に参加
Q5. 風呂、トイレ掃除

人とのふれ合いで学ぶことが多く、他人の家の掃除の方法は勉強になります。利用者さんが楽しみに待っていてくれて訪問時のおしゃべりも楽しいです。



- Q1. 1年未満 Q2. 50代 Q3. 女性
Q4. 職場でパンフレットをもらった
Q5. 通院同行、掃除、洗濯

誰かを必要としている方へのサポートはみんな喜んでくれて、「ありがとう」と言ってくれることが嬉しいです。



サポーター募集中

実施自治体ではサポーターを募集中です。あなたの力を困っている方々に貸していただけませんか？



医療生協さいたま

地域福祉相談支援センター/くらしサポーター事務局

直通電話 048-296-8692